長澤登山教室通信

No. 150
2023.03/10

皆さんいかがお過ごしでしょうか。

今号の巻頭写真は、「毎月歩く高尾山-2月」の高尾梅林で撮った一枚です。まだ蕾もたくさんあったので満開ではありませんでしたが、ちょうど見頃だったのではないでしょうか。途中休憩した「高尾梅の郷まちの広場」は、梅のふくよかな香りに満たされていました。来年は、木下沢梅林がオープンするタイミングにあわせて歩きたいと思っています。２月の長澤登山教室は、雨に当たったり、鳶尾山では橋の架け替え工事でコースを変更したりと、ちょっと波乱気味なスタートでした。が、高尾梅林で梅を楽しみ、松田山では河津桜と菜の花のコラボレーションが素晴らしく、満足の２月でした。

さて、５月の確定表をお送りします。新緑から初夏に移る５月を彩るのはアカヤシオやシロヤシオなど、ツツジ類です。5月のトップバッターは赤城の利平茶屋森林公園からのコースは、アカヤシオの咲く中を登って行きます。それほどの急登もなく楽しいコースです。高原山の大入道から剣ヶ峰の周回コースは、シロヤシオが見事ですが、レンガツツジやヤマツツジ、ミツバツツジ、アカヤシオなど実に多くの種類のツツジが咲きます。必ずどれかの見頃に出会えます。５月の最後は日光の霧降高原遊歩道から丸山を歩きます。シロヤシオが見頃でしょう。ちょっと変わったところでは、三国山稜でヤマシャクヤクはいかがでしょうか。関東近郊ではヤマシャクヤクの自生地が少なく、そんな数少ない自生地の一つです。５月の毎月高尾山は、エビネ祭と行きましょう。ベニバナシャクヤクにもタイミングが合えば咲いているかも。

ところで、お花見といえば桜です。三大桜と言われる桜があります。山梨県の山高神代桜、岐阜県の根尾谷の淡墨桜、福島県の三春滝桜です。いづれも樹齢1000年以上と言われています。そんな三大桜のお花見に行ってみませんか。開花予想は、３月末から４月初めとなっていますが、もう少し近づいてから計画します。もし参加を希望、または検討されたい方はSMSやメールで連絡を下さい。ご連絡いただいた方に、日程、集合時間や方法を改めてご連絡いたします。参加、不参加の最終判断は、その日程などを見てから決めて下さい。いまのところ日帰プランで考えています。

能登地震から３ヶ月が過ぎました。震災からの復興があまりにも遅いと感じるのは僕だけでしょうか。この国はどこまでも「自己責任」なんでしょうか。地元自治体にしても被災した人たちであって、もっと国が外からの援助が必要ではと思っています。同じ災害が多いイタリアでは、国防予算の中に災害対策が組み込まれ、ボランティアも政府が組織しているという。ボランティアに参加中の給料は国が保証すると言う。日本は世界でも有数の災害大国です。被災した自治体任せではない、国の対策が必要ではないでしょうか。にもかかわらず、与党の腐敗ぶりには許し難いほどです。彼らは何のために政治家になったのでしょうか。自分の懐を肥やし、その富を一族に引き継ぐため政治家になるとしか思えない。いつまでこんな腐敗し切った政治家を許すことができるのでしょうか？

それでは皆さん、また山でお会いしましょう！